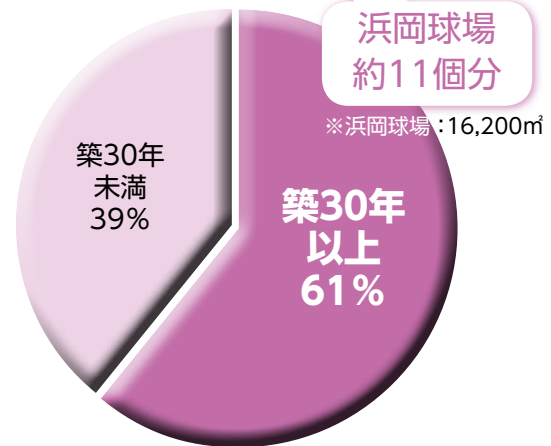


# 市内155の公共施設、有効に使っていますか？

市内公共施設数：155施設  
延床面積：174,396㎡



◆10年後の市内公共施設老朽化割合

## 公共施設の最適化

公共施設は、学習の場や交流の場、手続きを行う場など、市民の生活を支える大切な役割を担っています。全国的に昭和50年代の高度成長期には、急激な人口増加とともに公共施設が次々と建設されました。当時わが町でも市民サービスの向上と充実を図るため、数多くの公共施設を建設してきました。

公共施設は年々老朽化し、近い将来修繕や建て替え時期が一齐に訪れ、膨大な費用が必要となります。今ある公共施設をどう管理していけばいいのか、全ての公共施設が同じ規模のまま必要なか検証が必要です。

次世代へ負担を残すことのないよう、公共施設の最適化に取り組んでいきます。

## 修繕・建て替えには毎年約18億円かかる

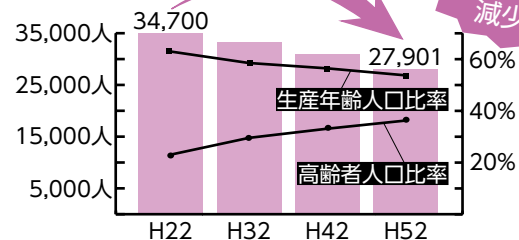
公共施設を現状のまま維持していくためには今後40年間で約716億7,000万円、年間では約18億円が必要となりますが、今後は歳入の減少や社会保障費などの増額により、施設の修繕・建て替えにかけられる財源は減少することが予想されます。現在ある全ての公共施設を同じ規模で維持することは非常に困難であり、次世代に負担を残すことになります。



## 人口減少による利用形態の変化

近年、市の人口は減少し続けており、平成52年には3万人以下になると予想されています。同時に、少子高齢化も進行を続け、30年後には生産年齢(15～64歳)1.4人で1人の高齢者(65歳以上)を支える時代が到来します。今後は、公共施設を利用する人口の減少や利用形態・需要の変化が予想されるため、公共施設のあり方を考えていく必要があります。

◆市の人口推移予測



## 次世代へ負担を残さないために ～計画的な維持管理の推進～

世代を超えて長期的に利用される公共施設は、計画的な維持管理などが求められています。そのため、市では公共施設の最適化に向け市民の皆さんと一緒に考えていきます。まずは、市内公共施設の建築物を対象に、利用状況や維持管理費用をまとめた「公共施設白書」を作成・公表しました。これを基に、さまざまな角度から公共施設を検証・評価し、計画的な保全や最も効率的な施設運営を検討して、将来的な方向性や進め方をまとめた基本方針や公共施設ごとの最適化に向けた計画を策定していきます。

